

令和5年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

県立新庄南高等学校

目指す生徒像	清らかで、清潔感にあふれ、真心をもって人や物事に対し、自ら進んで新しい物事に取り組む生徒
--------	--

重点目標	1 習得と探究のバランスがとれ、有機的に関わらせる学習指導を推進する	達成度	A	達成できた
	2 生徒が自ら志を高め、志望実現のために努力できるキャリア形成環境をつくる		B	ほぼ達成できた
	3 自分のよさや可能性の伸長を生徒自らが図ることができる環境をつくる		C	あまり達成できなかった
	4 魅力ある開かれた学校づくりを推進する		D	達成できなかった

A	十分評価できる	【A=3.5以上】
B	まずまず評価できる	【B=3.0以上】
C	一部見直しが必要である	【C=2.5以上】
D	根本的な見直しが必要である	【D=2.5未満】

自己評価						学校関係者評価		
番号	重点目標	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	習得と探究のバランスがとれ、有機的に関わらせる学習指導を推進する	①疑問を持つ予習と定着させる復習を学習習慣にして、知識と技能を育成する。	4段階自己評価の平均3.0以上	2.6	C	評価を指導に生かす。研究授業・事後研修の充実。	B	・1人1台パソコンをうまく利用してみてはどうでしょうか。例えば学習アプリなどがあればそれを使ってみるなど。 ・生徒同士の会話からも教師に対する信頼感を感じた。 ・生徒の自主性を促すために目標設定させ、1週間のタイムスケジュール表などを全学年で作成し、実施する。 ・ICTを活用したペア、グループ学習の促進、問題解決学習を行う。 ・対話を通しての学びの機会がとて多くなってきたので、その後のフォロー（リフレクション）が今後重要になると考えられる。
		②生徒同士の相互触発と追究を確立して、テーマにそって探究できる力を育成する。	4段階自己評価の平均3.0以上	2.9	C	ペアやグループでの探究活動の検討。		
		③教科書とICTを徹底して使い、教科書を超える学習と授業を目指す。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B	ICTの活用方法の研究と教員間での共有。		
		④生徒自身のメタ認知(自分の認知を一段高次から認知する)を支援し、学びに向かう力を育成する。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B	振り返りの有効活用。		
2	生徒が自ら志を高め、志望実現のために努力できるキャリア形成環境をつくる	①新しい価値観や考え方に会える機会を充実させ高い志を育成する。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B	大学・企業見学やオープンキャンパス等を活用した新たな出会いの機会を創出。	B	・普通科の生徒も積極的に大学生との交流ができる環境があれば良いと感じます。 ・地域における新南生の諸活動を高く評価したい。 ・同時に企業見学やオープンキャンパス等を積極的に行い「地域」や「外の世界」を生徒に知らせたい。 ・ジモト大学の積極的参加、大学生メンターとの地域理解や課題に取り組む探究の成果はとて素晴らしい(継続する体制づくりが重要)。
		②自己や他者との対話を通して、自身のキャリア形成について深く考える機会を充実させる。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B	大学生メンターを活用し、地域をフィールドにした探究学習の推進。		
		③目標を達成できる実感を育てながら、真剣に向き合い、乗り越えることができる環境をつくる。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B	総合的な探究の時間でのテーマを、PDCAサイクルによりさらに掘り下げていく学習の必要性。		
		④外部の教育資源と生徒をつなぎ、大学等や就職への円滑な移行を支援する。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.2	B	ジモト大学の積極的な活用による経験値の汎用性向上。		
3	自分のよさや可能性の伸長を生徒自らが図ることができる環境をつくる	①「時間を守る、整理整頓、元気な挨拶」を学校生活の日常とさせ、社会的資質・能力を育成する。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B	登校時間の変更にも慣れない生徒がいた。挨拶は以前より減少したが、上級生の姿をみて挨拶ができるようになってきている。	B	・もともと地域を巻き込んで良いと感じます。生徒会を中心に、地域が求める高校生のパワーを探究し全校生に周知するなどして新南と地域の密着度を上げてほしい。新南祭などの行事でも地域との何かがあれば学校PRにも繋がると思います。 ・外部の人とのかかわりを重ねることにより、聞く力、礼節の大切さを体感すると思う。 ・教室や部活動、面談を通して仲の良い友人作り「相談できる人」を作る支援を強化したい。
		②交流と創造を目指した学校行事と部活動を展開し、学校生活を豊かで充実したものにする。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B	新南祭一般公開を再開した。部活動は生徒数が減り、思うように活動できていない面もある。		
		③あらゆる機会に、「自分と他の人の大切さを認める」という人権尊重の精神を貫いた教育を行う。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B	いじめ等は少ないが、引き続き仲の良い友人同士の関係の変化に気付けるよう日頃の対話と情報交換を大切にしていける。		
		④校外活動への積極的参加を推奨し、多様な人々との関わりの中で育つ環境を提供する。	4段階自己評価の平均3.0以上	2.9	C	コロナ禍の影響で今まで校外での交流の経験が少なく、新しい活動への意欲が薄い。生徒会活動等で機会を増やしていく。		
4	魅力ある開かれた学校づくりを推進する	①外部の教育資源を活用した「新たな知や感性との出会い推進プロジェクト」を推進する。	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B	大学生メンターを活用した総合的な探究の時間の運営。地域の教育資源の積極的活用。	B	・今年度の取り組みであった、芸術工科大学との連携での地域との繋がりはとても有意義なものであったと感じました。是非この取り組みを何らかの形で保護者、中学生、地域や全国に発信するツールを確立して欲しいと思います。それが新南のウリになると確信します。 ・本校は新築校舎としての魅力はないが、最上公園側という立地と環境、廊下の作品群のギャラリーのような校舎の歴史と環境に誇りを持ってほしい。 ・老朽化する校舎内外(樹木含めて)安全性の確保。 ・地域の中学生に届く、活発な情報発信をもっと進めてほしい。 ・日常のちょっとした出来事をSNSで発信することで、「入りたい・学びたい」高校として選ばれたいと思う。更なる情報発信に注力していただきたい。
		②生徒や保護者、中学生等に「伝わり、届く」情報発信を推進する。	4段階自己評価の平均3.0以上	2.8	C	学校HPやSNSを活用した情報発信。生徒会等の生徒主体の情報発信推進。中学関係者との相談会の充実。		
		③安全と安心をベースに生徒の学びと教師の働きを支える学校施設設備の整備・管理を推進する。	4段階自己評価の平均3.0以上	2.8	C	冷暖房環境の充実。安全点検を踏まえた迅速な施設整備。		
		④教職員の時間外勤務時間を削減できるように業務の見直しを図る。	4段階自己評価の平均3.0以上	2.7	C	生徒及び教職員の退校時間の徹底。ICTを活用した効果的な指導の研究推進。効果的な部活動推進。		

学校関係者評価を踏まえた改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導に関しては、家庭学習等の学習習慣やICTの活用、探究学習も含む学習全体での生徒のメタ認知支援など、習得と探究のバランスがとれ、有機的に関わらせることを改善の方向性とする。 ○進路指導に関しては、生徒が自ら志を高めることができるキャリア形成環境づくりを改善の方向性とする。そのために、探究学習における大学との連携や情報活用力の育成を目指したICTの活用、地域の人々との交流や施設の活用が有効である。 ○生徒指導に関しては新高校への統合を踏まえ新庄北高校や他校、地域との交流など、活性化した交流を改善の方向性とする。 ○学校の諸活動や生徒の活躍等について積極的な情報発信を行い「学校の良さ」を分かりやすく伝えていく。 ○学校経営として働き方改革は不可欠であり、県教育委員会と連携した組織対応が喫緊の課題である。
------------------	--